

オーストラリアの利下げについて

<0.25%利下げ、政策金利3.00%へ>

12月4日、オーストラリア準備銀行(RBA)は政策金利を0.25%引き下げ3.00%とすることを決定しました。

発表された声明文では、世界経済の見通しについて、前回同様、主に欧州問題による下振れリスクが指摘されたことに加え、足元で米国の「財政の崖」問題に対する先行き不透明感が市場心理の重石になっていることにも触れられました。

また、金融政策については、これまでの利下げの効果が未だ十分に現れていないものの、持続可能な成長とインフレ目標の達成を促すために更なる利下げを行うことが現時点で適切と判断したと述べられています。

<豪ドルはやや上昇>

11月の豪ドルは、米国の「財政の崖」問題やギリシャ支援を巡るニュースが市場の注目を集める中、総じて上昇傾向を辿りました。

利下げ発表後の豪ドルは小動きとなっています。12月4日東京市場14時現在、1豪ドル=1.044米ドル、1豪ドル=85.7円程度となっています。

<金融政策と為替の見通し>

インフレは中期的に目標範囲に落ち着くと予想される一方で、オーストラリア国内を含め世界的な景気の下振れリスクに対する警戒感から、RBAは金融政策について今後も緩やかな姿勢を継続すると思われます。

豪ドルについては、引き続き米国の財政問題や欧州の状況等によって市場のリスク選好度に左右されやすい場面もあると思われますが、先進国の中では相対的に金利が高いことや最上位格付けを維持する同国の安定性などが評価され、底堅く推移すると思われます。

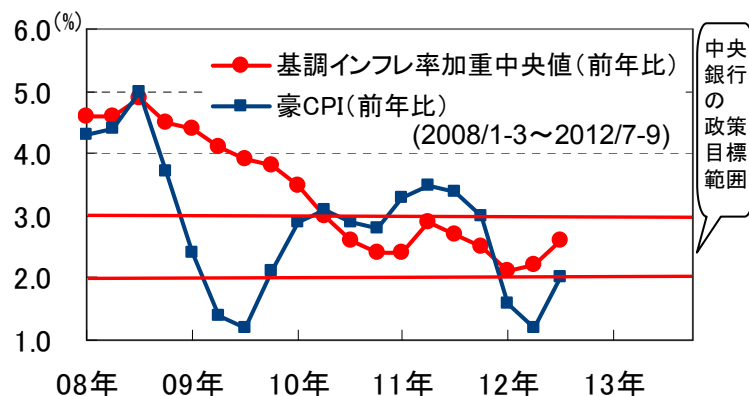
<豪政策金利の推移>



<豪ドル為替の推移>



<インフレ指標の推移>



出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



商号等
加入協会

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会